



夢見る熾天使、2022年、
キャンバスに油彩、
130 x 105 cm、
ジャン・フーケにインスピレーションを得た作品。

イタリアのクアトロチェントの画家たち（フラ・アンジェリコ、デラ・フランチェスカ...）とフランドルの原始画家（ファン・エイク、ファン・デル・ウェイデン...）の影響を受けたジャン・フーケと彼の「宇宙」は、フランス絵画をフランス絵画に飛躍的な進歩をもたらしました。15世紀。

セラフィムとケルビムに囲まれた聖母子は、優雅さ、率直さ、洗練されたエロティシズムが混ざり合った詩的できらめく作品です（花びらのように繊細に開いたコルセット...）。この作品は、発明、バランス、高貴さからなる独創性を通じて、今日の私たちの感性に語りかけます。

聖母と子供に明るい色調を使用することで、セラフィムとケルビムに使用された強烈な色とは対照的な柔らかさを与えています。フィリップ・デュティユールは、作品にユーモアのタッチを挿入することを好みますが、それを発見するのは見る人次第です。



聖母子、二連祭壇画「ド・ムラン」の右パネル、1770年頃に散り散りになった、パネルに油彩、120 x 224 cm (93 x 85 cm および 94.5 x 85.5 cm)、フランスの画家であり照明家でもあるジャン・フーケ（1420-1480）によって、1452年から1458年頃に制作されました。